# (19)日本国特許庁 (JP) (12) 公 開 特 許 公 報 (A) (11)特許出願公開番号

# 特開平6-48368

(43)公開日 平成6年(1994)2月22日

(51)Int.Cl.5

檢別記号

庁内整理番号

FΙ

技術表示箇所

B 6 2 M 25/08

7331-3D

審査請求 未請求 請求項の数2(全 9 頁)

(21)出顧番号

特顯平4-218782

(71)出願人 000010076

ヤマハ発動機株式会社

静岡県磐田市新貝2500番地

(22)出顧日

平成 4年(1992) 7月27日

(72)発明者 太田 雅男

静岡県磐田市新貝2500番地 ヤマハ発動機

株式会社内

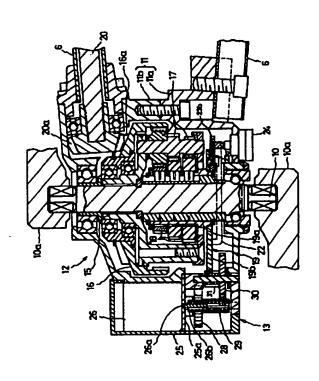
(74)代理人 弁理士 山川 政樹

#### (54) 【発明の名称】 自転車の電動変速装置

#### (57)【要約】

【目的】 ワイヤを使用せずにモーター駆動させる。

【構成】 ハンガー部11に内装式の前部変速機12を 配設し、その切換レパー19bに変速用モーター26を 連結する。このモーター26を、ハンガー部11に一体 的に設けられたケース25に支持させると共に、滅速歯 車機構27を介して前記切換レパー19bに連結した。 このため、変速用モーター26と前部変速機12の切換 レバー19 bとが歯車式動力伝達部材のみを介して連結 . される。動力伝達経路中に長さの変わる部材が皆無とな るから、長期にわたって使用したとしても機械的誤差に 起因して変速位置の精度が低下するようなことがない。



q

ェーンを巻掛け替えるチェーンガイドを、フレームに動 カユニットを介して装着し、この動力ユニットを、シフ トスイッチ操作に応じて駆動される変速用モーターが装 着されかつフレームに固定されたケースと、チェーンを 巻掛け替える方向に沿ってこのケースに進退自在に支持 され、一端に前記チェーンガイドが取付けられ他端に歯 車を介して前記モーターが連結されたラックギヤとによって構成したものであるため、変速用モーターと変速機 の変速部材とが歯車式動力伝達部材のみを介して連結される。

【0049】したがって、変速機をモーターによって駆動するに当たり動力伝達経路中に長さの変わる部材が皆無となるから、長期にわたって使用したとしても機械的誤差に起因して変速位置の精度が低下するようなことがない。

## 【図面の簡単な説明】

[図1] 第1の発明に係る電動変速装置を搭載した自転車の側面図である。

[図2] 第1の発明に係る電動変速装置の要部を破断して示す平面図である。

【図3】第1の発明に係る電動変速装置の要部を破断し て示す側面図である。

【図4】後部変速装置を示す図で、同図(a)は側断面図、同図(b)は(a)図におけるB-B線断面図、同図(c)は(a)図におけるC-C線断面図である。

【図5】第2の発明に係る電動変速装置を搭載した自転車の側面図である。

【図6】第2の発明に係る電動変速装置の要部を破断して示す正面図である。

10

【図7】図6における動力ユニットのVII-VII線断面図である。

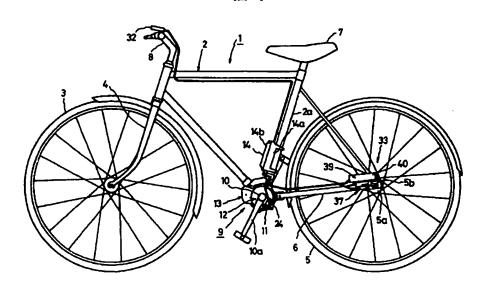
【図8】後部変速機を示す平面図である。

【図9】後部**変速機の動**力ユニットを示す側断面図である。

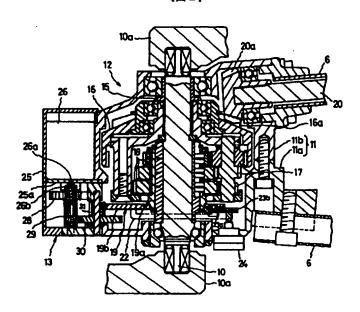
### 【符号の説明】

- 9 電動変速装置
- 10 クランク軸
- 11 ハンガー部
- 10 12 前部変速機
  - 13 動力ユニット
  - 14 コントローラ
  - 19b 切換レバー
  - 25 ケース
  - 26 モーター
  - 27 減速歯車機構
  - 32 シフトスイッチ
  - 51 電動変速装置
  - 52 チェーンリング
- 20 53 チェーンリング
  - 54 チェーン
  - 55 チェーンガイド
  - 56 動力ユニット
  - 57 ケース
  - 58 モーター
  - 59 動力伝達機構
  - 60 コントローラ
  - 66 ラックギヤ

(図1)



【図2】



[図3]

